

果樹病虫害予察調査結果（6 / 23 調査分）
（三条・加茂・田上地域）

6月23日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 6月11日に梅雨入りし、今後は特に雨の日が多くなると予想されます。降雨前防除・新梢管理(枝抜き等)・SSの走行路を変更する等散布ムラを解消し、病害への感染を防止しましょう。
- ナシヒメシンクイ第2世代幼虫の防除時期は、誘殺状況から**6月23～27日頃**です。また、モモの新梢では芯折れ被害も確認されています。
- 一部で、**ハダニ類**の発生が確認されています。高温乾燥傾向が続く際は多発生に注意し、特に主幹近くの葉裏を丁寧に観察しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 一部で、**セイヨウナシ褐色斑点病**発病葉が確認されています。梅雨以降増加しやすいので、発生が少ないうちに、り病葉・り病果を摘み取り園外で処分しましょう。
- 多くの園地で、新梢先端部に**アブラムシ類**の寄生が確認されています。寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場合は薬剤抵抗性の発達に注意し、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。
- **花腐れ細菌病**の発生が確認されている地点があります。新梢を整理する過程で、り病枝の切除を進めていただいておりますが、引き続き、発見した場合は切除し園外で処分しましょう。
- **黒星病**の発生は少ないものの、感染危険度が昨年より高い状況です。り病葉・り病果の除去とともに、園内の過湿を防ぎ、通風を

よくすることも大切ですので、新梢管理や排水改善にも努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は、全ての地点で新梢葉での発生が確認され、果実発病も一部で確認されています。今後、風雨で拡大しやすくなりますので、防風施設の点検等を行いましょう。
- 今回調査では、灰星病等の果実腐敗病害は確認されませんでした。が、収穫前日数に注意しながらJAの「桃 収穫・管理日程表」を参考に防除を実施しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、5a内でのつるを調査しました。

- 一部で、灰色かび病発病葉およびアザミウマ類による果実被害が確認されています。また、今回調査でべと病は確認されませんでした。が、新梢管理や早期の傘・袋かけで被害を防止しましょう。

◇ 次回調査は7月10日(月)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020